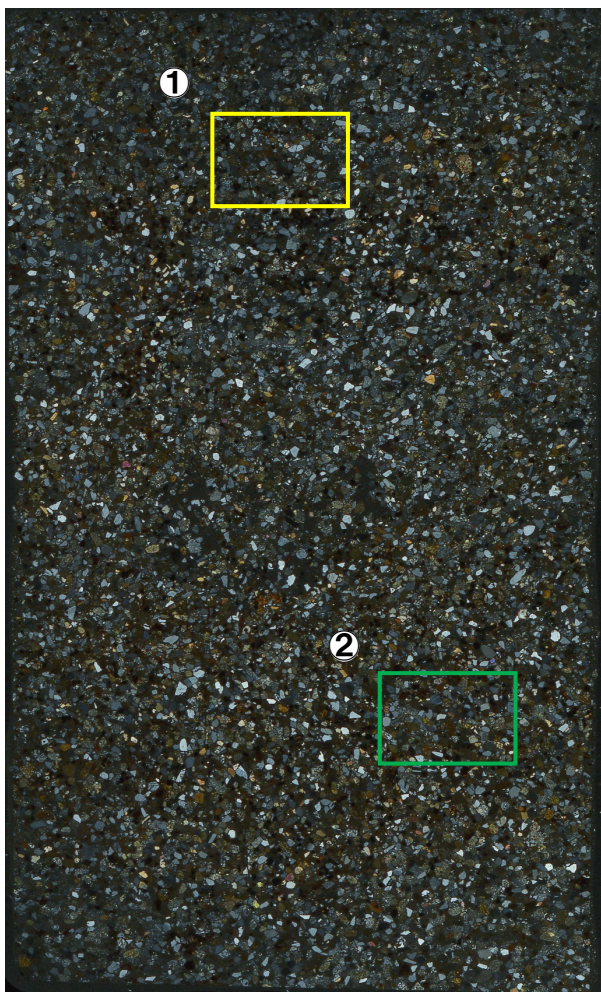


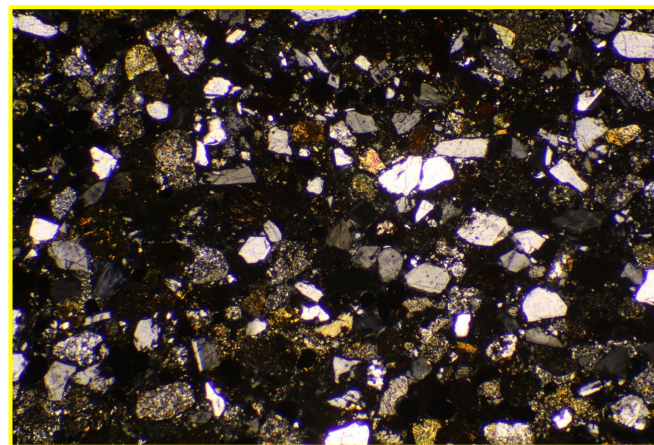
①薄片観察-SKB-TW-3-3(2/2)-



クロスニコル

10mm

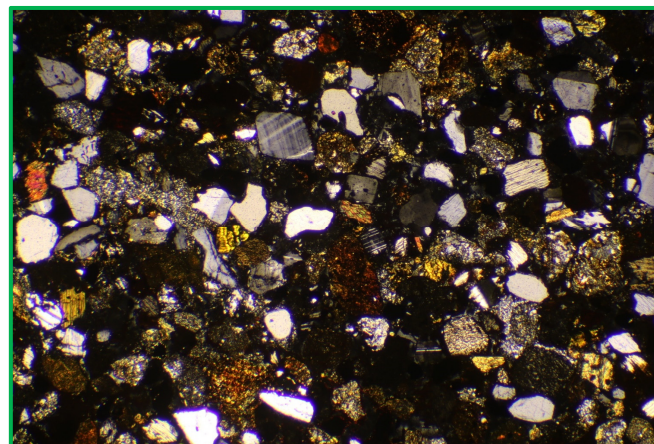
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



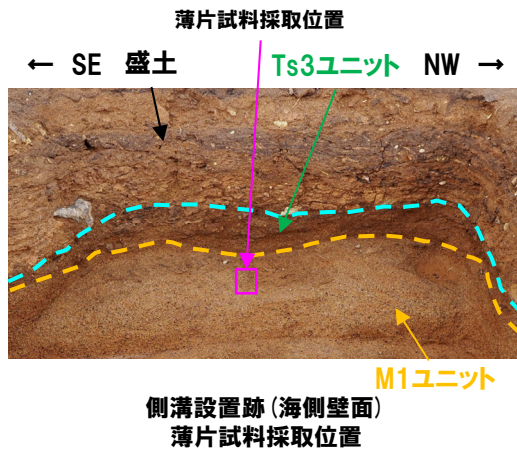
クロスニコル

1mm

①薄片観察-SKB-TW-3-4 (1/2) -

【SKB-TW-3-4 (M1ユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①及び②)。



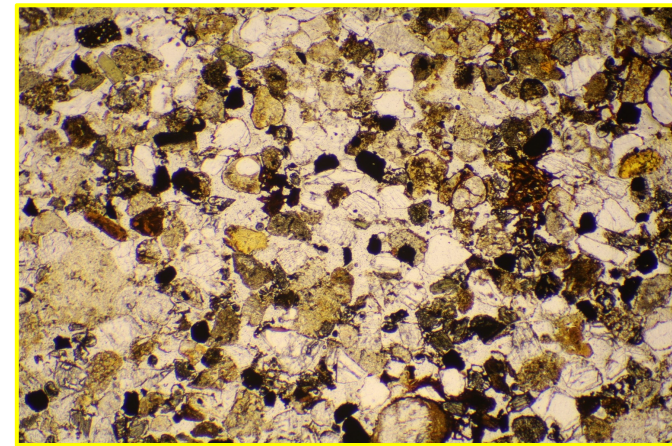
薄片試料写真(作成前)



オープンニコル

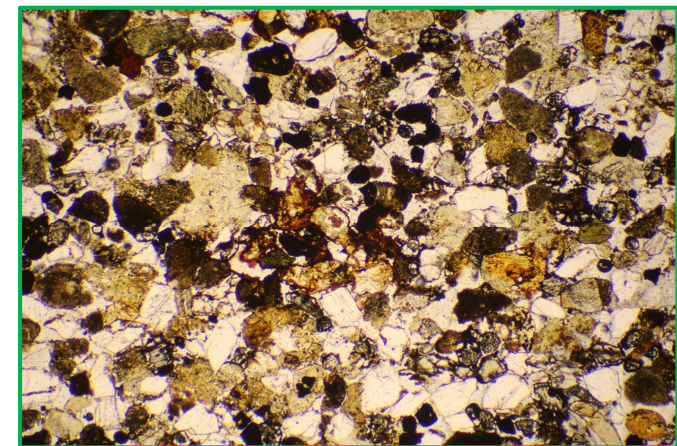
10mm

<拡大写真①>



オープンニコル

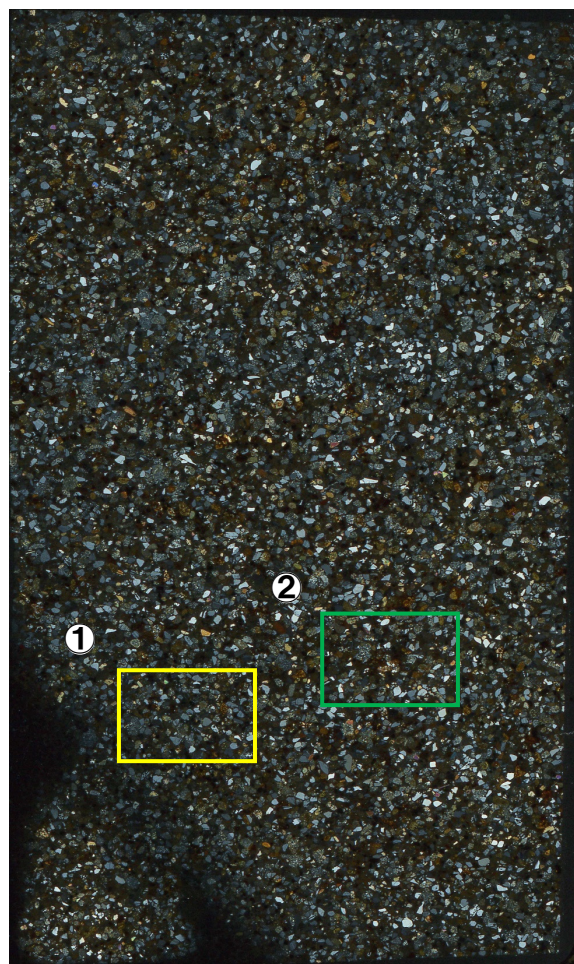
<拡大写真②>



オープンニコル

1mm

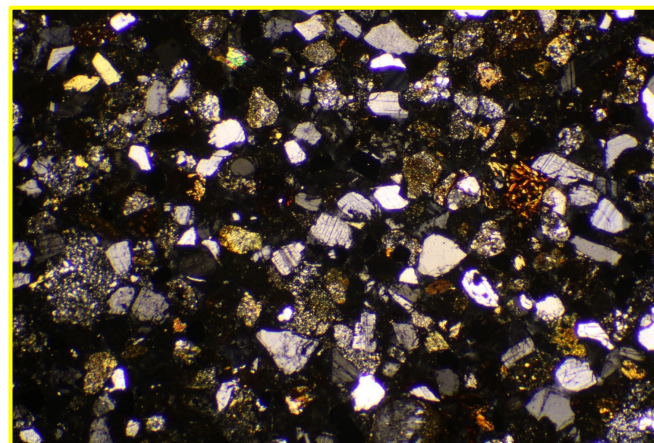
①薄片観察-SKB-TW-3-4 (2/2) -



クロスニコル

10mm

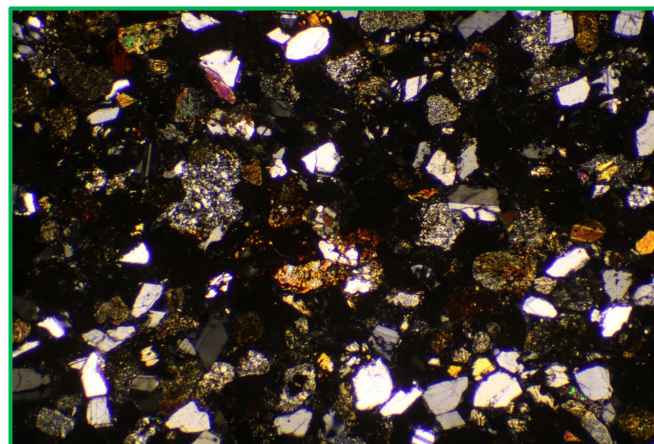
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



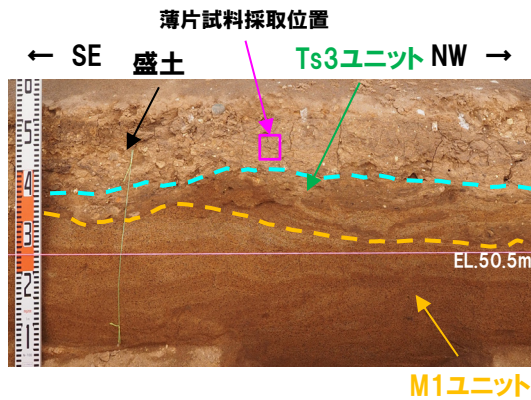
クロスニコル

1mm

①薄片観察-SKB-TW-2(1/2)-

【SKB-TW-2(盛土)】

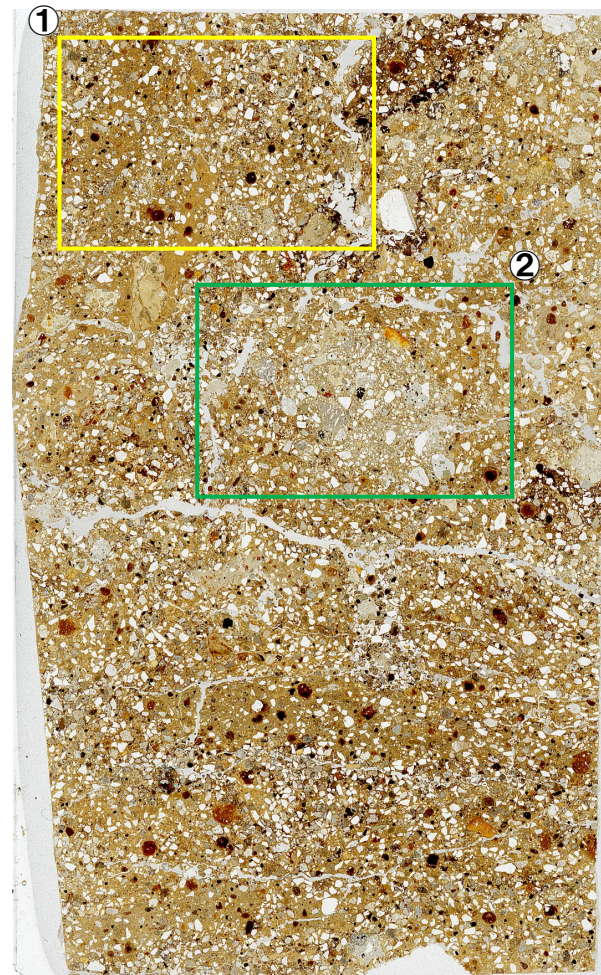
- 黄褐色を呈する粘土鉱物が薄片試料全体に多く認められるが、局部的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。
- 水平方向に連続する空隙が数条認められ、薄片試料内を横断し、層相観察及びはぎとり転写試料観察において認められる特徴(亀裂が発達する)と調和的である。
- 砂粒径の碎屑物の量及び粒径の異なる箇所が認められ、粒子の形状及び粒径等が変化に富み、不均質な性状を示す(拡大写真②)。



側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置



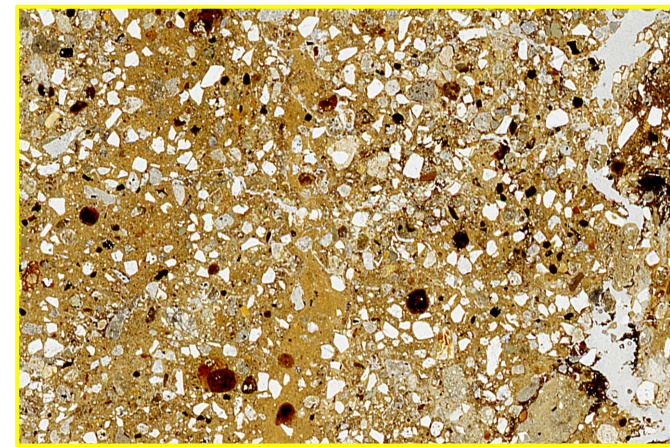
薄片試料写真(作成前)



オープンニコル

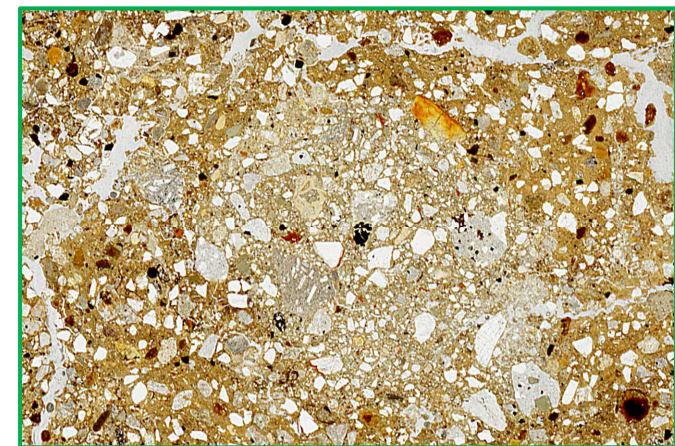
10mm

<拡大写真①>



オープンニコル

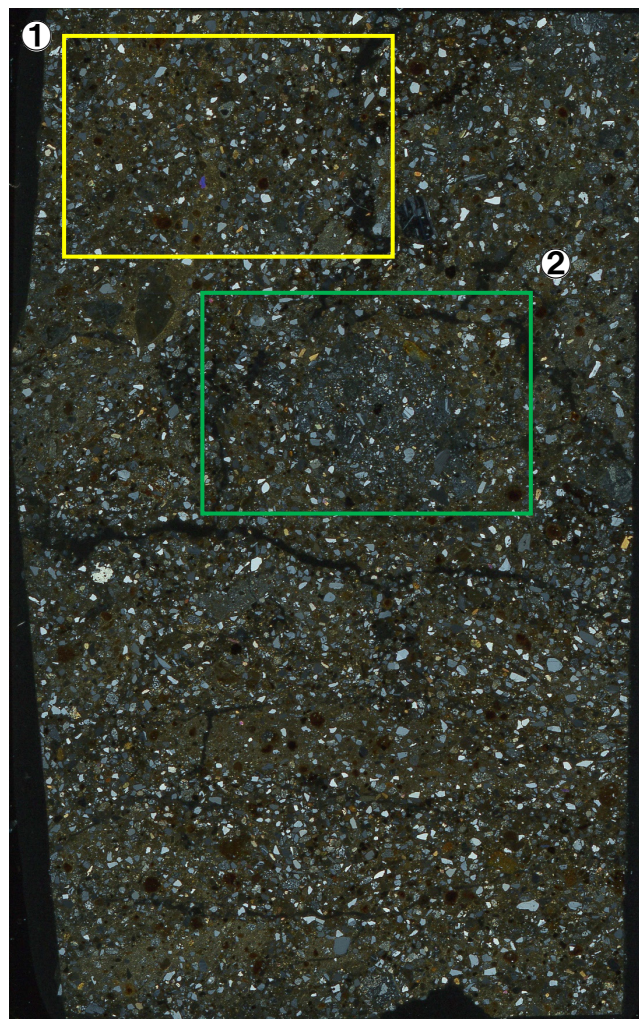
<拡大写真②>



オープンニコル

2mm

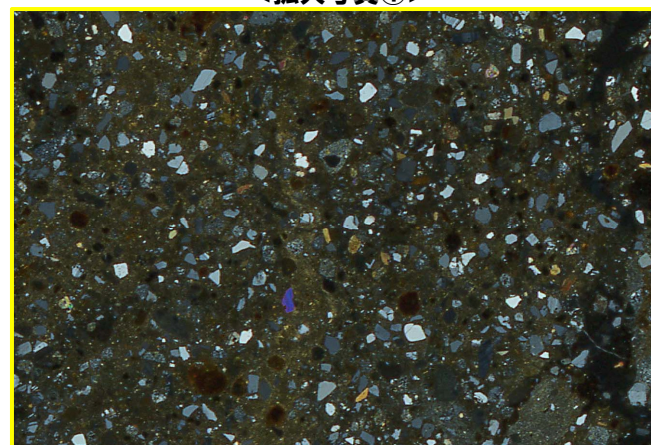
①薄片観察-SKB-TW-2(2/2)-



クロスニコル

10mm

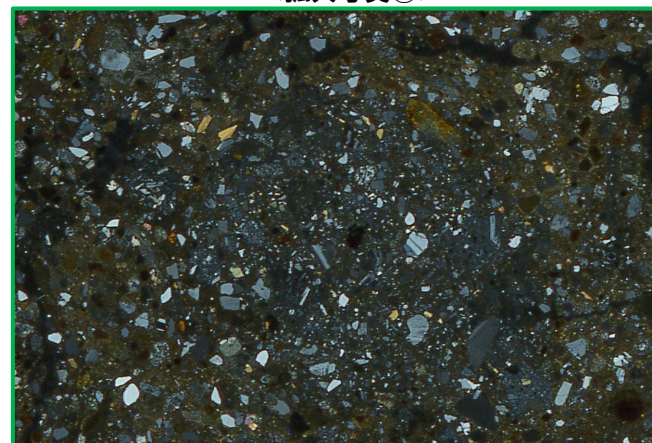
<拡大写真①>



クロスニコル

2mm

<拡大写真②>



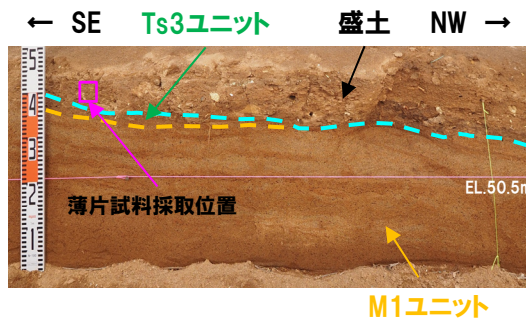
クロスニコル

2mm

①薄片観察-SKB-TW-4(1/2)-

【SKB-TW-4(盛土)】

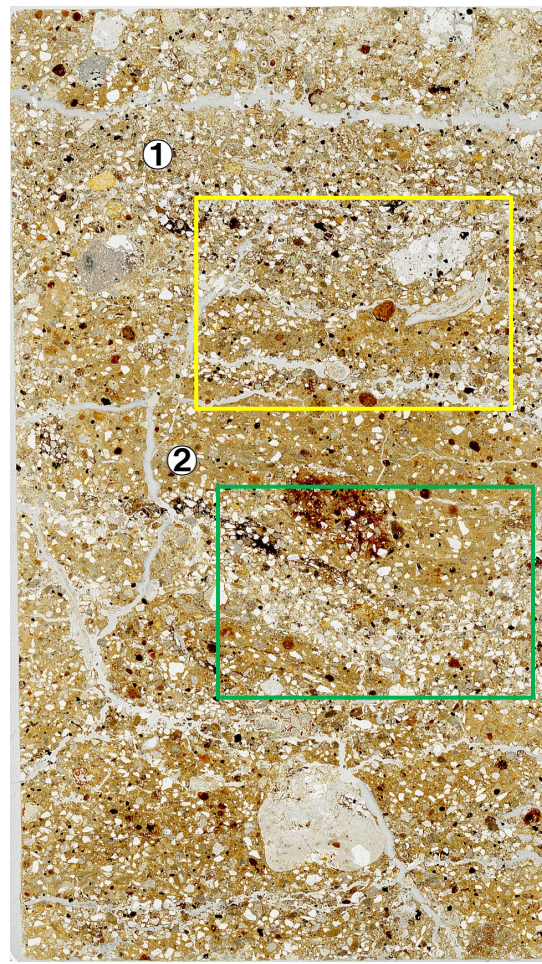
- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が多く認められ、局所的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。また細～中礫サイズの安山岩の亜角～円礫が散在する。
- 水平方向に連続する空隙が数条認められ、薄片試料内を横断し、層相観察及びはぎとり転写試料観察において認められる特徴(亀裂が発達する)と調和的である。
- シート状に伸びた黒色の箇所が認められ、盛土敷均しの際に混入した腐植土が伸ばされたものと考えられる(拡大写真②)。



側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

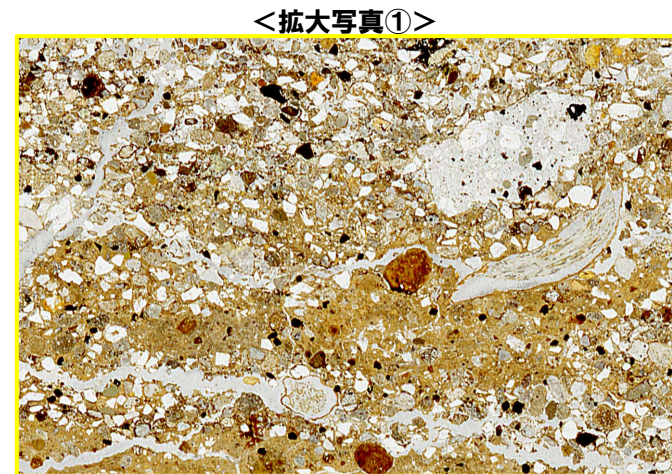


薄片試料写真(作成前)



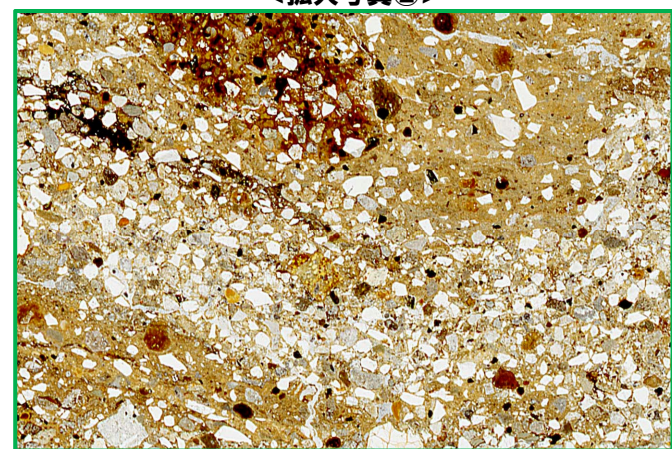
オープンニコル

10mm



オープンニコル

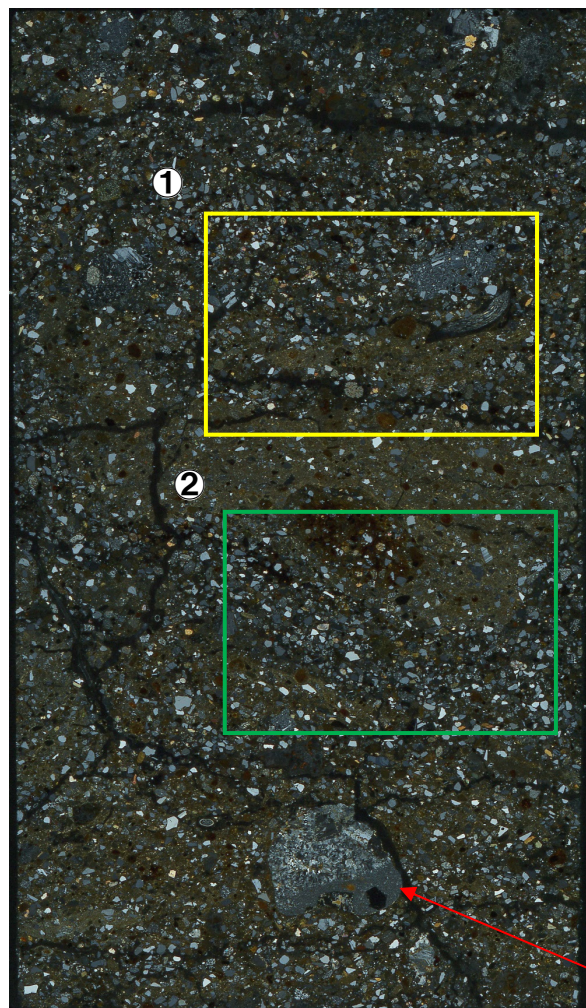
2mm



オープンニコル

2mm

①薄片観察-SKB-TW-4 (2/2) -



クロスニコル

10mm

安山岩礫

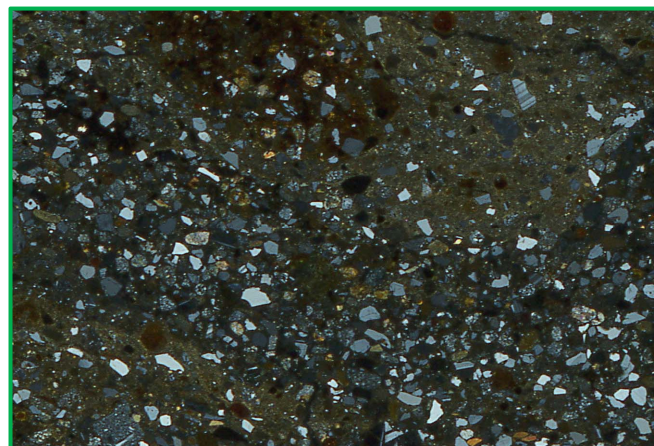
<拡大写真①>



クロスニコル

2mm

<拡大写真②>



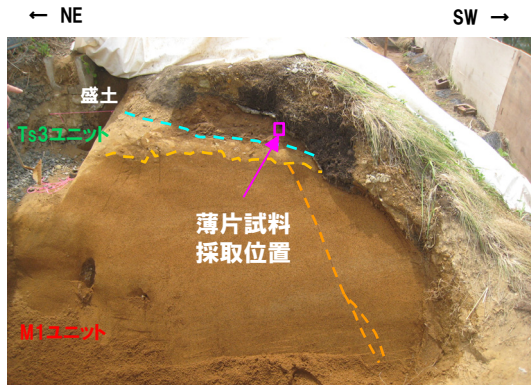
クロスニコル

2mm

①薄片観察-SKB-S-3(1/2)-

【SKB-S-3(盛土)】

- 褐色～黄褐色を呈する粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が薄片試料全体に認められ、局所的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。
- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が混じり、細礫サイズの流紋岩及びデイサイトの円礫が認められる。
- 植物片(拡大写真②)が認められる。



開削調査箇所(南側)南側壁面
薄片試料採取位置



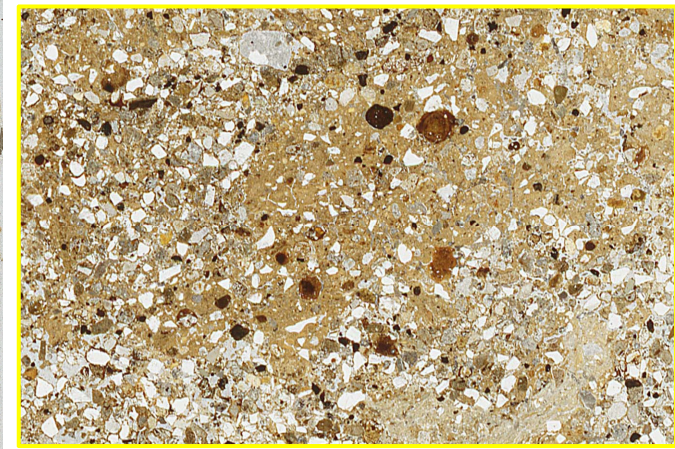
5cm
薄片試料写真(作成前)



オープンニコル

10mm

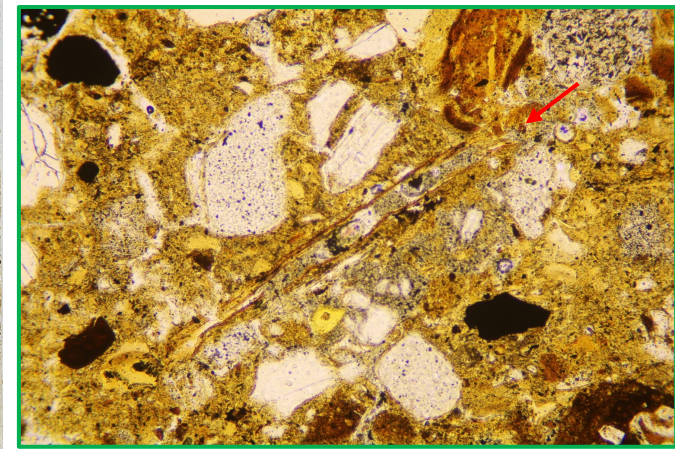
<拡大写真①>



オープンニコル

<拡大写真②>

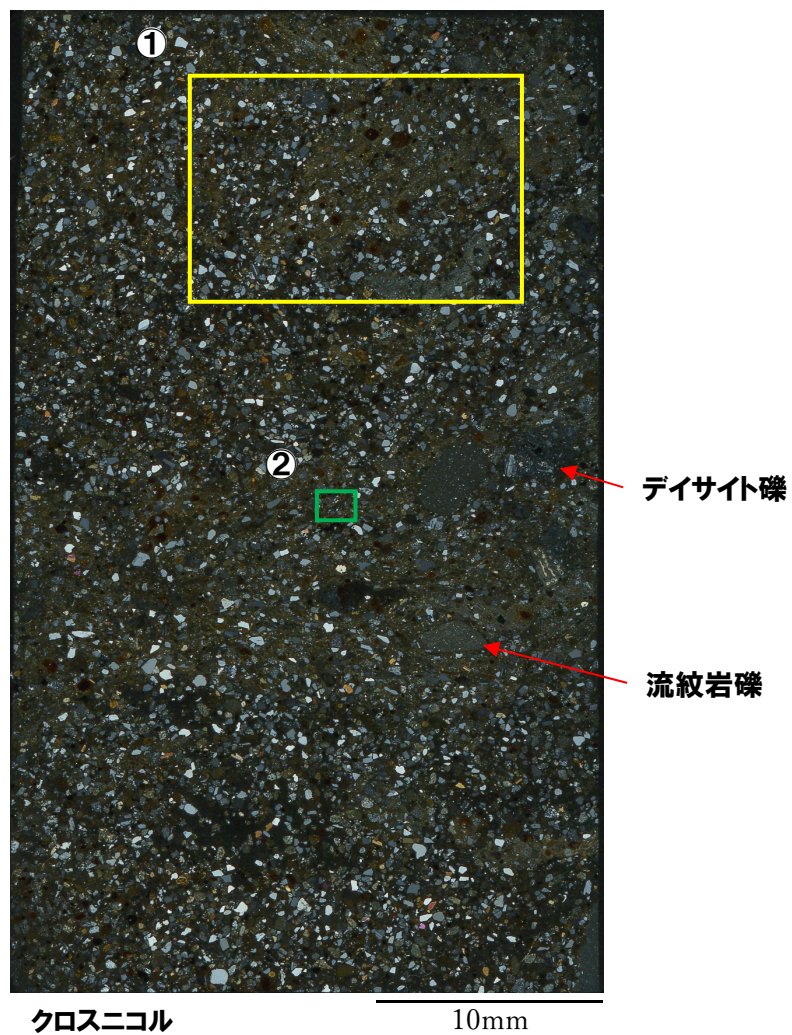
2mm



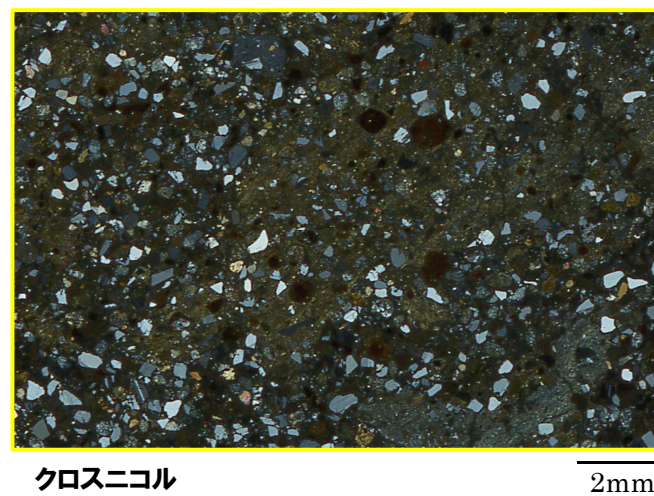
オープンニコル

0.5mm

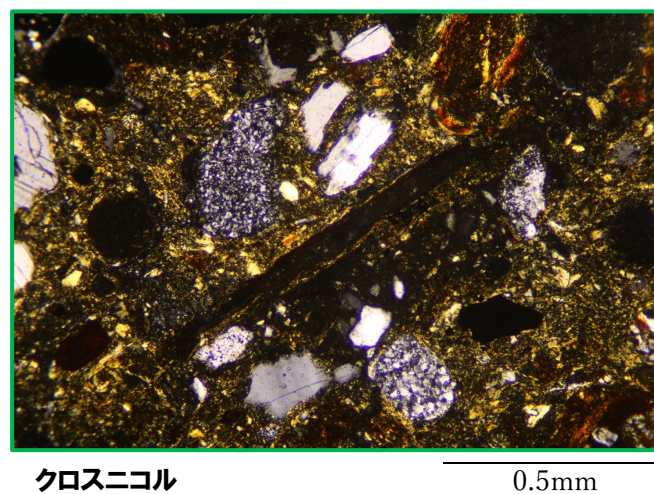
①薄片観察-SKB-S-3(2/2)-



<拡大写真①>



<拡大写真②>

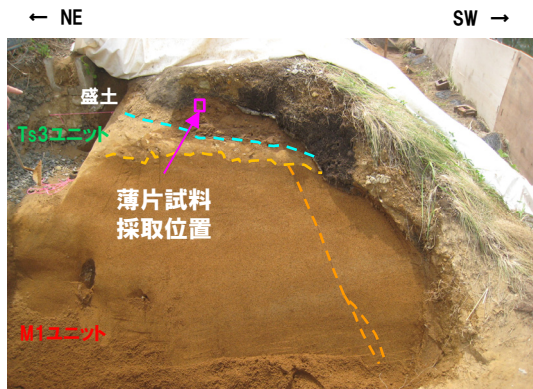


開削調査箇所(南側)

①薄片観察-SKB-S-4(1/2)-

【SKB-S-4(盛土)】

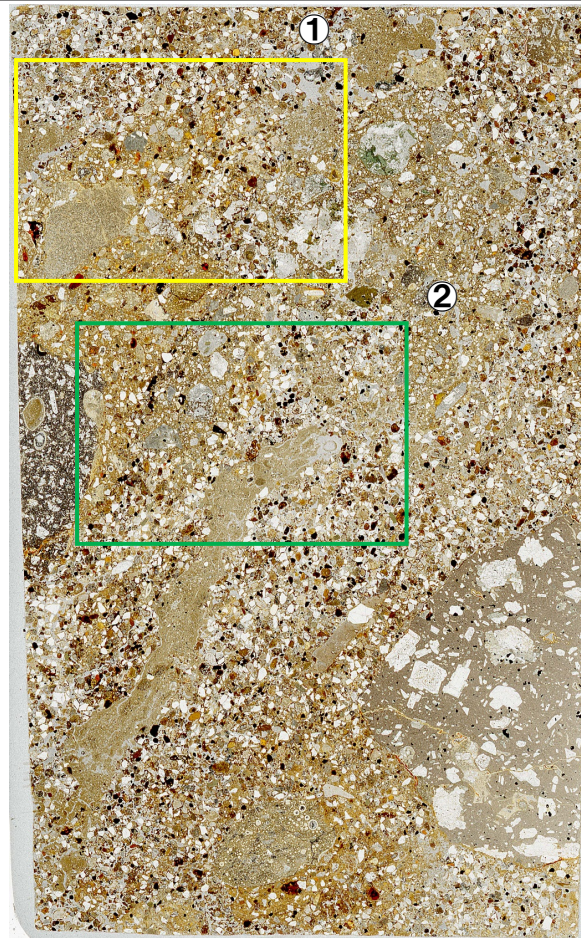
- 粒子間に褐灰色を呈する粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められない箇所と卓越して多い箇所(拡大写真①)が不規則に分布する。また、旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる細礫サイズの亜円礫並びにデイサイト及び安山岩の亜角～円礫が認められ、粒子の形状及び粒径等が変化に富み、不均質な性状を示す。
- 粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物からなる薄層が認められ、高角度に伸びるが、連続性が認められない(拡大写真②破線囲み範囲)ことから、盛土敷均しの際に伸ばされたものと考えられる。



開削調査箇所(南側)南側壁面
薄片試料採取位置

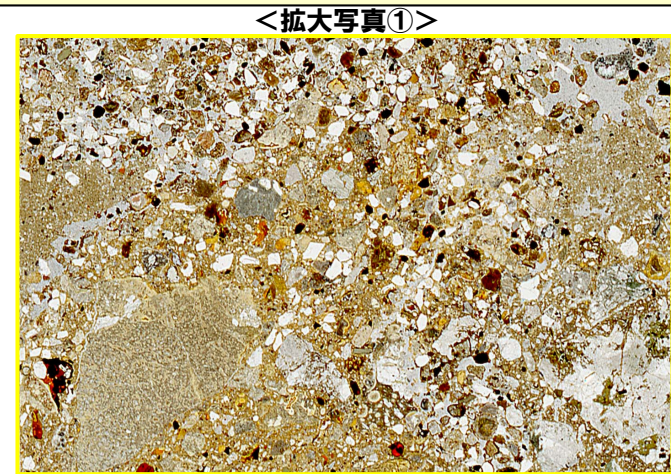


薄片試料写真(作成前)
5cm



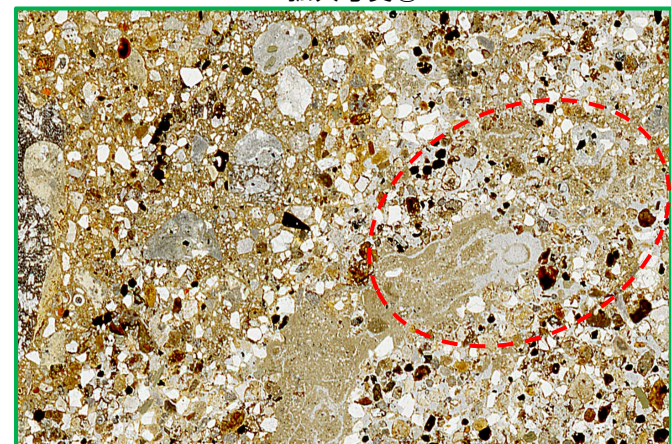
オープンニコル

10mm



<拡大写真①>

オープンニコル <拡大写真②> 2mm



オープンニコル

2mm